AsiaNet 99156 （3141）

医療製品のリアルワールド研究に関する第1回ボアオ国際会議が海南で開催

【海口（中国）2022年12月9日新華社＝共同通信JBN】第1回 Boao International Conference on Real World Studies（リアルワールド（実臨床）研究に関するボアオ国際会議）が12月8日、「医療製品のリアルワールド（実臨床）データ研究と革新的な開発・管理」をテーマに海南省で開催された。

中国のユニークな「医療特区」であるHainan Boao Lecheng International Medical Tourism Pilot Zone（海南ボアオ・楽城国際医療ツーリズム・パイロットゾーン）は実際のデータの適用を積極的に活用する唯一のパイロットゾーンである。近年、国際的、革新的な医療機器が最初に中国に参入する際の最も重要なチャネルに成長し、まずは医療技術、機器、医薬品の3つの分野で国際的先進レベルとの同期を達成した。

海南省のFeng Fei省長は演説で、楽城パイロットゾーンは2019年以来、16カ国・地域の80社以上の医療機器企業と深い協力関係を確立したと述べた。臨床的に緊急に必要とされる270種類以上の医療製品が海外から導入されてきた。 計9種類の製品が臨床評価を補完するため楽城でのリアルワールドデータを使用し、中国で医薬品として承認された。Feng Fei氏は「会議に出席する専門家、学者、ゲスト、友人の皆さんが突っ込んだ議論と意見交換を行い、楽城パイロットゾーンがリアルワールド研究の新しい高地と中国製薬業界発展の新しいエンジンになるよう促進することを心から希望する」と述べた。

世界保健機関（WHO）の中国駐在代表ガウデン・ガレア（Gauden Galea）氏によると、情報技術とデータ科学の急速な発展でリアルワールドのデータ、研究、エビデンスは規制の判断に広範囲で多岐にわたる影響を与えてきた。中国は製品の評価と規制を革新するためにリアルワールドデータ研究を積極的に利用することを計画している。

会議ではメインフォーラムと 8 つの並行フォーラムが設置され、国内外の医療規制機関、科学研究機関、医療機関、学会、医療機器企業などからの人々が集まり、国内外での段階的に導入されている研究成果を発表、リアルワールド研究の交換プラットフォームを共同で構築した。

ソース：Hainan Boao Lecheng International Medical Tourism Pilot Zone

画像添付リンク:

Link: <http://asianetnews.net/view-attachment?attach-id=435790>

 （画像説明：医療製品のリアルワールド研究に関する第1回ボアオ国際会議）